

上下水道だより

問 お客さまセンター (☎73・3988 FAX73・6288)



教えて! 水道事業のコスト削減などに関する取り組みと料金改定

Q. コスト削減などの取り組みが未達成なのに、水道料金の改定を行うべきと判断したのはなぜ?

A. 平成28(2016)年度に策定した宝塚市水道事業経営戦略において、10年間で大幅なコスト削減などを行う目標(目標額49.3億円)を定めました。しかし、これらの取り組みを実行したとしても経営状況は厳しく、赤字が発生する見込みでした。

令和3(2021)年度に行った中間検証では、前期5年間で12.9億円のコスト削減などを実現し、後期5年間でさらに24.6億円のコスト削減などを実現できる(合計金額37.5億円、達成率76.1%)と見込んでいます。ただし「小林・亀井浄水場跡地の利活用」(目標額11.1億円)は達成が見込めない状況です。

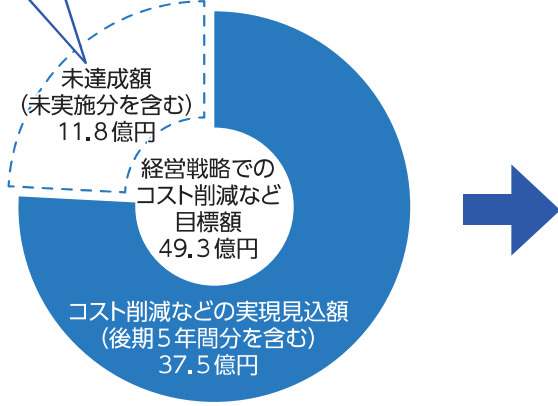
上下水道局としては、こうした状況のなかで、その達成にさらなる年月をかけ、料金改定を先送りすることは、将来、市民により大きな負担を求めることになると認識しています。コスト削減などの取り組みを継続しながら、給水原価を下回り原価割れとなっている水道料金の改定を行うことが、人口減少時代における持続可能な水道事業の運営に必要であると判断しました。

今後も新たな取り組み項目を追加してコスト削減を進め、市民の皆さんに料金改定の必要性についてご理解いただけるよう努めていきます。

具体的な
取り組み内容



未達成となっている主な項目は、廃止した小林・亀井浄水場跡地の利活用(11.1億円)です。解体費が想定を大きく超えることが明らかになり、土地の売却が進んでいません。



未達成部分を補う今後の主な取り組みは?



施設の統廃合(ダウンサイジング)

配水池や加圧所の統廃合により動力費などの経費を削減していきます。



民間活用

小林・亀井浄水場跡地の利活用については、民間事業者のニーズの把握に努め、売却だけでなく、長期的な貸付なども視野に入れ、検討を継続していきます。

その他、水道台帳の電子化など利用者の利便性向上に向けた取り組みも積極的に実施していきます。

経営企画課(☎77・2104 FAX72・5381)

水道料金改定の議案を9月市議会に提出し、現在審議中

上下水道事業審議会答申の提言に基づき、平均改定率19%の水道料金改定案を9月市議会に提出しました。なお、今回提出した改定案には、水道使用者の急激な負担の増加を緩和するため、令和6(2024)年4月1日から1年間は基本料金および従量料金の改定額を半額(四捨五入)とする経過措置を設けています。

水道水フッ素およびその化合物検査結果

いずれも水質基準を満たしており、安全です。

採水場所	系統	採水月日
すみれが丘	惣川浄水場	8月2日 0.17
ゆずり葉台	惣川浄水場(生瀬経由)	0.17
長尾台	小浜浄水場(川面経由)	0.29
安倉中	小浜浄水場	0.32
東洋町	阪神水道	0.09
中山桜台	小浜・県営水道	0.17
大原野	小浜・県営水道	0.18
武庫山	惣川・阪神水道	0.17

単位 = mg/L、厚生労働省の水質基準は0.8mg/L以下です

問 浄水課(水質検査室) (☎83・6940 FAX83・6941)

水道メーターの法定取り替え

水道メーターは、法律で有効期間が8年と決められており、地域ごとに取り替えています。10月の取替対象地区は以下のとおりです。対象者には事前に取り替え予定日などを記載したお知らせを投函します。都合の悪い場合はお知らせに記載している委託業者に連絡をお願いします。

実施期間: 10月4日(水)~25日(水)

対象地区: □谷東、□谷西、山本丸橋、山本野里、長尾町

問 お客さまセンター (☎73・3988 FAX73・6288)